

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年4月14日
【会社名】	株式会社ベクトル
【英訳名】	VECTOR INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長CEO 西江 肇司
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂四丁目15番1号
【電話番号】	03 - 5572 - 6080 (代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長CFO 後藤 洋介
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂四丁目15番1号
【電話番号】	03 - 5572 - 6080 (代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長CFO 後藤 洋介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、2026年2月20日付で提出した臨時報告書について、未確定事項が確定しましたので、同法第24条の5第5項の規定に基づき、当該臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

2 報告内容

(6)当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

(訂正前)

(6)当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

あしたのチームは債務超過の状態にあり、当社が取得時に計上したのれんについても過去に減損処理を完了しているため、本株式譲渡に伴い、当社の連結決算において特別利益が発生する見込みです。また、本株式譲渡に関連して債権放棄を実施いたしますが、当該債権については既に全額貸倒引当金を計上しております。なお、2026年2月期の連結業績に与える影響は現在精査中であり、今後開示すべき事項が判明した場合は速やかに開示いたします。

(訂正後)

(6)当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

あしたのチームは債務超過の状態にあり、当社が取得時に計上したのれんについても過去に減損処理を完了しているため、本株式譲渡に伴い、当社の連結決算において特別利益として関係会社株式売却益1,797百万円を計上いたしました。また、本株式譲渡に関連して債権の一部放棄を実施いたしましたが、当該債権については過去に全額貸倒引当金を計上していたため、個別損益への影響は軽微であります。また、連結決算におきましても当社の個別決算において計上した債権放棄損と、あしたのチームの個別決算において計上された債務免除益は相殺消去されるため、連結損益への影響はありません。

さらに、当社は、当社の連結子会社であった株式会社あしたのチームにおいて、過去数事業年度にわたり債務超過の状態にあったため、関係会社事業損失引当金を計上しておりましたが、同社が連結子会社から除外されたことにより、個別決算において関係会社事業損失引当金戻入額1,187百万円を特別利益として計上いたしました。なお、当該特別利益は連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。